

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月31日

計画の名称	安全・安心な暮らしを支えるための公共インフラの再構築（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	松山市												
計画の目標	松山市内において経年劣化等の進む公共インフラなどに関して計画的に点検や老朽化対策等を進めることによって機能保全を図り、安全・安心で快適な生活環境と利便性を支える公共インフラの再構築を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,187	A	1,178	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.75	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	道路橋梁の修繕数 道路橋の修繕・更新数 計画期間において修繕・更新対策に着手した橋梁数 / 計画期間における修繕・更新対策を計画した橋梁数（16橋）	0%	70%	100%
2	道路舗装の修繕面積 道路舗装の修繕面積 計画期間において修繕対策に着手した舗装面積 / 計画期間における修繕対策を計画する舗装面積（25,000㎡）	0%	60%	100%
3	道路橋梁の耐震改修数 道路橋の耐震改修数 計画期間において耐震改修に着手した橋梁数 / 計画期間における耐震改修を計画した橋梁数（2橋）	0%	0%	100%
4	横断歩道橋の修繕数 横断歩道橋の修繕数 計画期間において修繕対策に着手した横断歩道橋数 / 計画期間における修繕対策を計画した横断歩道橋数（2橋）	0%	0%	100%
5	改修済の港湾施設数 改修済の港湾施設数 計画期間において改修に着手した港湾施設数 / 計画期間における改修を計画した港湾施設数（2施設）	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村道	修繕	道路橋長寿命化対策事業 (修繕)	道路橋梁(重要)修繕 N=15 橋	松山市						183		策定済	
	A01-002	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村道	修繕	道路機能保全対策事業	舗装修繕・道路附属物施設修繕	松山市							182		策定済
	A01-003	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村道	点検調査	道路附属物点検調査事業	道路照明灯など	松山市							43		-
	A01-004	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村道	計画調査	道路施設長寿命化計画策 定調査事業	道路橋梁・トンネルの点検・ 調査長寿命化計画策定	松山市							332		-
	A01-005	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村道	-	道路橋長寿命化対策事業 (更新)	市道湯山10号線:上高野橋 1橋	松山市							96		策定済
	A01-006	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村道	修繕	道路橋耐震化対策事業	道路橋梁耐震化 N=2橋	松山市							54		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-007	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村道	修繕	横断歩道橋長寿命化対策事業	横断歩道橋修繕 N=2橋	松山市						16		策定済	
	A01-008	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村道	交安	未就学児お散歩コース緊急安全対策事業	未就学児集団移動経路の安全確保等工事	松山市						7		-	
	A01-009	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村道	交安	(1) 鮎屋町護国神社前線	歩道整備・自転車レーン L=0.38km	松山市						50		-	
												小計						963		
港湾事業	A02-010	港湾	一般	松山市	直接	松山市	地方	改良	堀江港港湾施設等長寿命化対策事業	浮棧橋・1号物揚場改修	堀江港・堀江地区						215		策定済	
												小計						215		
											合計							1,178		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H27	H28	H29	H30	H31						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
道路事業	C01-001	計画・調 査	一般	松山市	直接	松山市	市町村 道	計画調 査	道路台帳電子化事業	電子化	松山市						9		-			
		基幹事業（A1-1～-4）で実施した事業の履歴を道路台帳と一元管理できるように道路台帳の電子化を進めることで、道路施設の記事管理の効果や効率を更に高めることができる。																				
													小計						9			
											合計							9				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業策定主体にて評価を実施。	事後評価の実施時期 令和4年度
	公表の方法 市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市道の路面や道路施設等の補修を進めることで、安全・安心で快適な生活環境と利便性を支える公共インフラの再構築の実現を進めた。 ・道路補修の修繕により、市道の路面を良好に保持し、事故の防止と通行の円滑化を進めることができた。 ・道路橋梁の補修を行うことで、橋梁を適切に維持管理し、長寿命化及び維持管理コストの平準化を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児集団移動経路の安全確保等工事をはじめとする危険箇所への対策を行うことで、安全・安心な道路整備を進めた。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、安全・安心で快適な暮らしを支えるために、公共インフラの機能保全に努める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因
1	道路橋の修繕・更新数	
	最終目標値	100%
2	最終実績値	100%
	道路舗装の修繕面積	
3	最終目標値	100%
	最終実績値	86%
4	道路橋梁の耐震改修数	
	最終目標値	100%
5	最終実績値	100%
	横断歩道橋の修繕数	
6	最終目標値	100%
	最終実績値	50%
7	改修済の港湾施設数	
	最終目標値	100%
8	最終実績値	100%